

# 平成18年度 指導者実技研修会・指揮法講習会 報告



栃木県吹奏楽連盟  
副理事長(研修部部長) 岩原 篤 男

1 日時・日程 平成18年11月23日(祝・木) 10:00 ~ 16:00

2 内 容 テーマ ~ 明日から誰でも振れる指揮 ~

吹奏楽指導者の合奏指揮における基本的な指揮の方法や応用など

実際にピアノ伴奏を前に、講師による個別指導を受講します。

基本から応用へ、明日には生徒の前にレベルアップしたご自身を見せられます。

3 会 場 宇都宮市文化会館 4F 第1.2練習室

4 主 催 社団法人 日本吹奏楽指導者協会(JBA)

5 主 管 社団法人 日本吹奏楽指導者協会(JBA)関東甲信越支部

6 共 催 栃木県吹奏楽連盟

7 講 師 紙谷 一 衛

プロフィール 15歳から齋藤秀雄氏に指揮法を学び、19歳の時に東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。桐朋学園大学・東京音楽大学で教鞭をとり多数の有能な指揮者を輩出する。指揮活動は国内の演奏会にとどまらず、ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・アメリカでも絶賛を浴びた。郵政中央吹奏楽団を現在まで40数年にわたり指揮している。現在 日本吹奏楽指導者協会東京部会長を務める。

8 参加者 小学校 7名 中学校 20名 高校 10名 一般 2名 合計 39名  
( 宇都宮 4名 芳賀真岡 10名 上都賀 2名 下都賀栃木 5名  
下都賀小山 7名 塩谷那須 7名 佐野足利 4名 )

今回、日本吹奏楽指導者協会(JBA)と共催で指揮法講習会を計画したところ上記のような多数の参加者があったことを報告いたします。

当日は、秋のさわやかな青空の下、黄色く色づいた銀杏並木の宇都宮市文化会館に県内各地より朝早くからお集まり頂きました。会場内では講演開始前より持参の譜面台を立て不安とともに期待あふれた会話が飛び交っていました。午前10時より12時まで第1練習室・午後1時より4時までは、場所変えて第2練習室において指揮棒を片手に必死に講師・紙谷先生の指導のもと休み時間も惜しむ熱心さで研修されていました。私たち事務局もそして理事長も参加者と共に汗をかきながら、「明日は肩が痛くなるかな…」などささやきながらの研修でした。

研修の内容は、午前の部がシューマンの「子供の情景」より1「見知らぬ国と人々について」2「珍しいお話」をピアノ伴奏(東京より同行・永野理佳先生)の素晴らしい演奏に向かって今までの指揮法とちがった「跳ね上げ」などの要点を中心に指導していただきました。資料として紙谷先生が用意された「指揮法では、最低限何が出来る必要があるか」「現在私達が身につけるべき指揮法」「指揮法のまったくの基礎」などと齋藤秀雄先生の指揮法教程より「打法」について説明を織り交ぜながらユーモアにあふれた指導そして参加者一人一人への的確なアドバイスなど時間があつという間になりました。特に午前中は、初めて指揮をする先生や少し経験のある先生方対象に基礎を念入りに行われました。午後は、実践的な指揮として、「雪山讃歌」などの例を取り上げながらアフタクトの処理やシューベルトの「Thema aus dem Impromptu」より「ロザムンデの主題による変奏曲」、ハイドンの「Allegro」「Adagio」と発展させ最後にはシベリウスの「フィンランディア」を課題に数人の先生方が積極的に前に出てピアノに向かって指揮を披露し指導を受けました。ピアノ伴奏者はそれぞれの先生方の指揮どうりに演奏を変化させ、その演奏や指揮ぶりを聴講するだけでもたいへん勉強になりました。

又紙谷先生から、一人一人の癖などにも的確なアドバイスがあり有意義な一日となり、参加された先生方からは是非このような講習を1回だけでなく数回に増やしたり個人レッスンが組める方法など希望がありました。

この件に関して、事務局としても今後検討していきたいと思っております。



## 指揮法講習会参加者感想より

大学の時以来の指揮法講習で大変有意義でした。

自分の指揮が自己流だとわかっていても、なかなか学ぶ場がなく、安い講習料でこんなに教えてもらってありがたかったです。

基本がどれだけ大切か、くせがなくわかりやすい指揮とは・・・と反省させられました。

中学校教員

大変勉強になりました。指揮棒を握ることも初めてであり、正直なところこの講習会に参加する資格があるのかと、ためらう部分もありました。

しかし、指揮の基本を学ぶことができ本当に良かったです。音を運ぶこと、上向きの棒で音楽を生み出すことが基本であることを知り、まずその点を身につけようと思いました。

高校教員

説明が具体的でわかりやすく、参考になった。「指揮の役目」という基本から始まり、お話もユーモアに富み、あきることなくあっという間に時間が過ぎた。

悪い「くせ」のついてる自分を自覚する良い機会となったし、目指す方向が見えてきた気がする。今後の指導に活かしていきたい。

中学校教員

今まで振り方について基本から教わったことがなかったので、大変勉強になりました。

ただ振るのではなく「人を動かして音を運ぶ」といったことは、分かっていたようで全く出来ていなかったと思います。講師の先生の説明はとてもわかりやすく、充実した1日でした。また、機会がありましたら是非参加させて頂きたいと思います。

一般バンド団員

吹奏楽の指導にたずさわり、指揮を振るようになったが、いつも自分の指揮が本当に正しいのか、生徒に分かりやすく振れているのかが不安なところが多かった。

今日、直に指導いただき、悪いクセなどを指摘され、より指揮の難しさと面白さを実感することが出来た。またこのような機会があるならば参加したいと思う。

高校教員

今日の指揮法講習会は大変良かったです。今まで「指揮」を正しく学習したことがなく、いつのまにか「自己流」が身に付いてしまっていたことに気付かされました。

紙谷先生がひとりひとり見てくださったので、とてもうれしかったです。ありがとうございました。今後の指導(指揮)に活かしていきたいと思います。

また、このような講習会を企画していただけると嬉しいです。

小学校教員